別紙１

北杜市環境保全事業実施報告書

団　体　名	やまなしどんぐりバンク
事　業　名	里山再生事業
事業概要 ※実施内容、事業期間等を記入してください。	やまなしどんぐりバンクが苗を育てている苗畑、その苗を植林した里山の維持・管理の関する事業を月１回以上実施した。苗畑では草むしりなどの維持・管理、苗の掘削、里山では講師による里山整備に対する考え方の普及、下刈り、粗朶刈り、土中環境の改善等苗の生育環境を保全する活動を実施した
備　　考	※事業実施に関する資料（写真等）を添付してください。

１　収入の部

内　　訳	決　算　額
他の補助金・助成金	0
参加料	0
寄付金・協賛金	0
その他	0
小　計(B)	0
自己負担金	458,236
合計	458,236

２　支出の部　　（単位：円）

内　　訳		決　算　額
補助対象経費	報償費	181,000
	消耗品費	23,190
	食糧費	9,403
	燃料費	11,789
	印刷製本費	221,170
	通信運搬費	8,184
	保険料	3,500
	合　計　（A）	458,236

※　収入の合計と支出の合計は一致させること

補助金交付額(C)

300,000円	C＝（A－B）×　2/3	ただし、補助金交付決定額以下

令和５年度活動写真

４月；　苗畑での苗の掘削・耕作





いざ植林へ!!





さあ植林だ!!

5月；新芽の芽吹き



7月；森づくりワークショップ





9月；森づくりワークショップ



１０月；どんぐり拾いイベント



どんぐり＆ゴミ拾いウオーク Inハローウイン



１１月；土中環境を考えた森づくりワークショップ







やまなしどんぐりバンク

2023/5/14（日）
10：00～14：00

遊べる里山プロジェクト

場所：北杜市白州町横手3739-5
尾白川渓谷入り口駐車場近く
場所がわからない方は大久保までお電話ください。

料金
子ども・22歳以下
無料
大人：500円
（材料費・保険・豚汁）

お申込フォーム
https://forms.gle/YTzF2yU7pSgX6RX9A

植林&リースづくり
こどもとおとなの
里山ワークショップ

持ち物・服装
長袖/長ズボン/長靴
帽子/軍手（作業手袋）
飲み物/昼食/おしぼり
マイ箸/マイお椀/ゴミ袋
ゴミの持ち帰りにご協力ください

お問合せ
090-7808-2600（大久保）
LINE：kaoriom0611
位置情報をお送りします



当日、NHKBSの取材があります。お顔が映ると問題の方は事前にご連絡をお願いします。

やまなしどんぐりバンク

里山再生 土中環境を考えた 森づくりワークショップ

参加方法
フォームへ申込

日時:7月12日（水）10時～15時

場所　北杜市白州町横手or横手公民館

ワークショップ講師：環境再生土
黒岩成雄（シギー黒岩）

参加費
子ども
22歳以下&
北杜市内の方
無料
市外の方
500円～お気持ち
県外の方
1000円～お気持ち

問合せ:(代表・明石)
aka.satoyama@rainbow.plala.or.jp

持ち物

昼食・飲み物
カマ
貸出希望の方は事前申込下さい。
首を濡らすタオル/凍らせたペットボトルや保冷剤（熱中症対策）
長靴か汚れても良い靴
長袖/長ズボン/作業手袋
（蜂に刺されます！黒くないものが望ましい）



参考図書

黒岩さんの師匠、高田さんが小学生の自由研究から感銘をうけ制作された「よくわかる土中環境」自由研究ってこんなふうにやるんだ！という素晴らしい参考事例にもなるので小学生のいるご家庭さんはぜひお読みになってみてください☆

位置情報をお送りします
LINE：kaoriom0611
TwitterDM：hokutomama2020
（スタッフ・大久保）

現地への行き方



令和5年度北杜市環境保全事業の補助金を活用しています

里山再生

やまなしどんぐりバンク

土中環境を考えた

森づくりワークショップ

参加方法
フォームへ申込

日時:9月24日（日）10時～15時



場所　北杜市白州町横手

ワークショップ講師：環境再生士
黒岩成雄（シギー黒岩）

問合せ
明石　090-5562-5345
どんぐりバンク　FBページ
https://tinyurl.com/25vnh9vm

参加費
子ども・22歳以下
&北杜市内の方
無料
市外の方
500円～お気持ち
県外の方
1000円～お気持ち



持ち物：昼食（豚汁をご用意します♪お椀&箸をお持ちください）飲み物・かま（カマ:貸出希望の方は事前に申込み）首を濡らすタオル、凍らせたペットボトル・保冷剤など熱中症対策のもの

服装：長靴・汚れても良い靴・長袖・長ズボン・作業手袋

（蜂に刺されます！黒くないものが望ましい）

参考図書:黒岩さんの師匠、高田さんが小学生の自由研究から感銘をうけ制作された「よくわかる土中環境」自由研究ってこんなふうにやるんだ！という素晴らしい参考事例にもなるので小学生のいるご家庭さんはぜひ事前にお読みになってみてください☆

マップはこちらから

現地への行き方

当日道に迷ったらLINEへ位置情報をお送りします。LINE：kaoriom0611
（スタッフ・大久保）





令和5年度北杜市環境保全事業の補助金を活用しています

Please join us for a

やまなしどんぐりバンク

Halloween

どんぐり&ゴミ拾いウォーク

10月29日（日）13時~15時

みんなのおうち公園

山梨県北杜市武川町山高1441-5

入退場・仮装自由

持ち物：トング・手袋・ポリ袋







お問い合わせ

090-7808-2600(スタッフ大久保)

LINE：kaoriom0611

e-mail：hokutomama2020@gmail.com

×（twitter） @hokutomama2020

やまなしどんぐりバンクでは皆様のどんぐり拾いをサポートしています。

どんぐりを拾って撒いて苗を育ててみませんか？

拾ったどんぐりは、やまなしどんぐりバンクでお預かりし、翌々年の早春に育った苗をお返しいたします。

お手元のチラシとポリ袋を持って「べるが」でどんぐり拾いをしてください。拾ったどんぐりは受付におかれた段ボールに入れてください。お返しは育った苗の１０％とします（育った苗が10本以下の場合は1本お返しします）みんなで苗を育ててみませんか？

キャンプ場受付・総合受付にてどんぐり回収させて頂きます。



10月いっぱい回収しています☆

みんな・・・里山へ行こう!!!!

どんぐり通信 No.22

発行日：令和５年９月30日
発行者：やまなしどんぐりバンク
代　表：明石益夫
電　話：090-5562-5345
所在地：〒408-0105
山梨県北杜市須玉町
東向2231多麻15-2

里山は今！皆様、里山に来ませんか？

やまなしどんぐりバンクがどんぐりの実を拾い、耕作放棄地に播種して苗を育て里山に還してすでに１０年が経ちました。初めのころ植林した苗は樹高３～４メートル、径５センチほどの立派なクヌギ･コナラの木に成長しています。今年の夏は異常な高温で、里山の雑草は元気いっぱい異常な成長を見せており、苗木もそれに負けじと頑張っているようです。私たちは苗木の成長を支援する様々な取り組みを実施しています。

里山は、人と自然が協力し合い、生物多様性豊かな森を創出した数少ない例であり、日本人の故郷でもあります。その里山の豊かな森へと植林地を育ててゆく試みを始めました。多くの方の参加を希望します。

イベントの詳細
お問合せは
Facebookから





ハロウィン どんぐり＆ゴミ拾いウオーク

2023年 10/29（日）13:00～15:00
会場 武川町山高の道　仮装・入退場自由

2023年 10/1（日）～31（火） どんぐり拾い

会場 白州尾白の森 名水公園べるが

2023年 11/26（日） 第３回 森づくりワークショップ

会場 白州町横手

2023年 11月 下旬 植樹祭

会場 白州町横手地内



雑草が繁茂する中、けもの道を
下刈りして広げました
（第２回 森づくりワークショップ）



苗畑の当年苗



植林後６年目のクヌギ
高さ４m・径５cm元気です

やまなしどんぐりバンクからのお知らせ

「どんぐり通信No.22」をお届けいたします。このどんぐり通信は「やまなしどんぐりバンク」にどんぐりを預託してくれた皆様、イベントに参加された方、里山再生に関心のある皆様にお届けしております。また北杜市内の図書館・観光案内所等に常置しております。皆様のご意見・ご感想・ご要望などをいただければ幸いに存じます。　やまなしどんぐりバンク　代表：明石益夫　携帯▶０９０－５５６２－５３４５

本事業は、令和４年度北杜市環境保全基金を活用した事業です

どんぐりコラム

前回に引き続き、今回は環境再生士の黒岩先生に「里山再生」への想いと、森づくりワークショップへのイメージを語っていただきました。

慈しみの森　vol.2

自然農園経営・環境再生士　黒岩 成雄

私たちの心の中にある森の姿を具体的に創造するためにはどうしたら良いのでしょうか？まずは耳を澄ませて大地の声を聞くことから始めてみましょう。そして森との強い繋がりを取り戻しましょう。今、この目の前の大地はどんな姿になりたいのでしょうか？土地の意志、自然の意図を感じてみる。僕は大地には意志があると思います。どんな姿になることを望んでいるのか？そして今この大地は、健康な状態を保っているだろうか？本来の土地のポテンシャルを発揮しているだろうか？こんな風に興味を持って関わることで強い繋がりが生まれてきます。

もしも人の行き過ぎた関わりの中で、大地が傷んでしまっていたらそれを改善する必要があります。大地の呼吸を整えて本来の力を発揮できるようにお手伝いをします。少しも休むことなく動き続ける命の営みは、決して同じ決まった形はとらずにその場所に必要な営みを淡々と形作っていきます。そして多くの命が豊かに存在できるように変わってゆきます。

僕らはそこに寄り添って、少しだけ僕らの意志を受け入れてもらって、実の成る木々を植えて生きてゆく為に必要な糧を頂きます。慈しみの森に成ってゆくお手伝いは、道作りから。道を





作ることで大地の状態を知ることが出来ます。土の固さや乾き具合等を感じながら大地の健康度合いを教えてもらいます。道ができたら、安全に森に通えるようになって森の様子を感じることが楽しくなります。



道を作るラインは地形に合わせて等高線に近いラインで作っていきます。そして道を作ることで小さな段切りを斜面に作ると、そこから水と空気が動きやすくなります。雨が降った時、地面を流れる水が道のところで地面に浸透していきます。それまで雨の度に流れていた水が、斜面の途中で浸透すると大地を涵養して周辺の命を生き生きとさせてくれます。乾いていた大地に潤いをもたらすことになっていきます。人が必要があって作る道が、他の命の為にもなってゆく。人の存在価値が、ここで示されてゆく。この実感を是非森作りに関わりながら、感じて下さい。

そして道作りができたら今度は自然な森の植生を鳥さん達に作ってもらいましょう。鳥の好きな実をつける木々を植えて、沢山の鳥を呼び込みましょう。マユミ、カラスザンショウ、ミズキ、エゴ、リョウブ、ガマズミ、ヤマデマリ、鳥が食べた種子は、表面の皮が分解されて発芽しやすくなります。ほぼ100% 発芽するといわれています。鳥の糞に含まれた種が発芽して実生の木々が生えてきます。その中で残るものは僅かかもしれませんが、人間が選んだ木々を植えるのではなく、山の生き物に自然に作ってもらう森作り。



とっても愉しくワクワクしますね。どんな森が出来上がるのでしょうか？ひとつの造作をする度にそれが正解であれば、疲れること無く元気が内側から沸き上がってきます。みんなで慈しみの森を創造していきましょう！

里山再生 やまなしどんぐりバンク
土中環境を考えた
森づくりワークショップvol3

参加方法
フォームへ申込

日時:11月26日（日）10時～15時

場所　北杜市白州町横手



ワークショップ講師：環境再生士
黒岩成雄（シギー黒岩）

問合せ:(代表・明石益夫)
090-5562-5345

Facebookページ
https://www.facebook.com/profile.php?id=100093110905426

申込フォーム:https://forms.gle/VbsWEbtM5oZJtoT29

参加費
子ども・22歳以下
&北杜市内の方
無料
市外の方
500円～お気持ち
県外の方
1000円～お気持ち

持ち物

昼食/飲み物/かま/マイ箸/マイ椀
（豚汁を提供します）
（かま:貸出希望の方は事前に申込み）
長靴（ヘビ対策）/長袖/長ズボン
作業手袋/着替え（汗をかいたら夕方冷え込みで風邪をひきます。）防寒着





参考図書:黒岩さんの師匠、高田さんが小学生の自由研究から感銘をうけ制作された「よくわかる土中環境」自由研究ってこんなふうにやるんだ！という素晴らしい参考事例にもなるので小学生のいるご家庭さんはぜひ事前にお読みになってみてください☆

目印：植樹祭の看板



現地への行き方

googleマップ

当日道に迷ったらLINEへ位置情報をお送りします。LINE：kaoriom0611
（スタッフ・大久保）





やまなしどんぐりバンクメンバー募集中





主な活動内容

3月~4月どんぐりの苗づくり

6月~9月　苗床の草取り・環境整備

10月　どんぐり拾い

11月　環境整備　等





やまなしどんぐりバンクでは生物多様性を重視した里山づくりを通じ、人と人がが繋がり子供たちの未来の里山を豊かにする活動をしています。北杜市の掲げる教育グラウンドデザイン・原っぱ教育のように民間の手からも環境を生かし木や森と共に成長しながら学ぶ生きた教育の場を提供。大人も子供も老人も誰でも里山で共に学び、共に暮らし、共に助け合い。

命を紡ぐ場づくりをを皆さんと一緒に出来たら幸いです。

問合せ：hokutomama2020@gmail.com（スタッフ・大久保）





元気な里山再生へ Go!! Go!!

どんぐり通信 No.23

発行日：令和６年３月31日
発行者：やまなしどんぐりバンク
代　表：明石益夫
電　話：0551-42-1006
所在地：〒408-0105
山梨県北杜市須玉町
東向2231多麻15-2

みんなで創ろう豊かな里山を!!

毎年ドングリの苗を植林して約１０年が経ちました。環境など地域の諸条件によって実に多様な植林地が出現しています。やまなしどんぐりバンクでは、これらの植林地を集落の背後（里山）の生物多様性豊かで安全・安心な里山として育林することを目指して活動しています。

里山は、かつては集落に住む住人の生活の糧として･生産手段として、また子供たちの遊び場として等、様々に活用されてきた山です。近年の集落の過疎・高齢化により放置され荒廃しており、その再生が求められています。

私たちの里山再生は従来の視点とは異なり、健康で快適かつ豊かな生活空間の一部として定着させるべく、植林木・実生木・粗朶（そだ）木・草本・昆虫・動物など多様な生物と共生する里山づくりを目指します。多くの人々が里山を訪れ、様々な活動を行い、さらに豊かな里山となることを願っています。…みんなで里山に行こう‼

今年度の活動予定

最新情報はFacebookから▶

- 4月初旬～中旬：苗床づくり・播種・植林
- 5月中旬：芽吹きイベント
- 6～9月：里山再生イベント（植林地）
- 10月20日：どんぐり拾いイベント（べるが）
- 11月：伐採イベント（薪･ホダギ･たい肥作り）
- 3月：植樹祭・植林イベント



3か月でこんなに育ちました



植林地の土中環境の改善です



里山の土壌▶粗朶（そだ）・落ち葉・竹炭で



完成です！
できたマウンドで実のなる木を植えます



けもの道も活用します



元気なスタッフの面々

やまなしどんぐりバンクからのお知らせ

「どんぐり通信 No.２３」をお届けいたします。本通信は「やまなしどんぐりバンク」にどんぐりを預託してくれた皆様、イベントに参加された方、里山再生に関心のある皆様にお届けしております。また北杜市内の図書館・観光案内所等に常置しております。皆様の御意見・御感想・御要望等をいただければ幸いに存じます。

やまなしどんぐりバンク
代表：明石益夫　携帯▶090－5562－5345　Mail▶aka.satoyama@reinbow.plala.or.jp

本事業は、北杜市環境保全基金を活用した事業です

どんぐりコラム

前回に引き続き。今回は環境再生士の黒岩先生に「里山再生」への想いと、
森づくりワークショップへのイメージを語っていただきました。

あなたの水を産み出す山は生きていますか？

自然農園経営・環境再生士　黒岩 成雄



今回は、農に携わるものの一人として森のお話しをしたいと思います。ぼくは、自然に寄り添い出来るだけ余計なことはしない農の在り方を模索して、27 年目になります。農薬、化学肥料を使わない、大地を耕さない畑作りやお米作りを実践してきました。中々思うようにはいかないことも沢山有りましたが、自給自足的に日々生きてゆく為に必要な糧は獲られる暮らしを築いてきました。毎日野良に出る暮らしは、少し前の時代を生きた人には当たり前の暮らしです。畑、田んぼに通い、時には山に通って暮らしに必要なものを分けてもらいました。

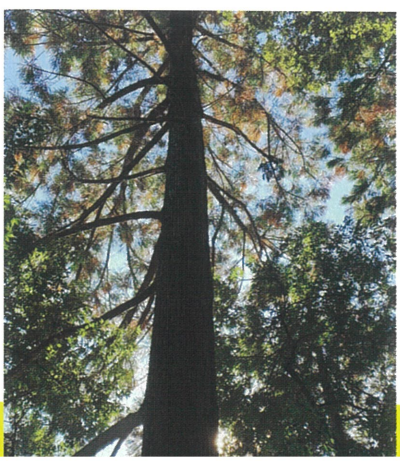
今の時代にはとても珍しい暮らし方かも知れませんが、野に吹く風を感じたり、今の季節ですと陽射しの温もりを有りがたく感じられて、自然を五感を通して知ることの出来る暮らしです。季節を彩る草花や虫たちの賑わいや移ろいを感じることも喜びです。小さなことですが、いろんな生命との繋がりの中に生かされていることに感謝の思いがわいてきます。

こんな暮らしをしていると田に引いている水やその水を育む森のことが気になります。僕の住んでいる地域の水源は、少し標高の高い森の中に湧いています。17 年前初めて訪れた時コンコンと湧き出る水とその泉の周辺は、鬱蒼とした森がひろがっていて、ものの け姫のシシガミ様が出てきそうな泉でした。人を寄せ付けない、それでいて包み込んでくれるような優しさに満ちていて、少し恐ろしくなるような神聖さを放っていました。自然と手を合わせて感謝の想いをお伝えしたのを覚えています。

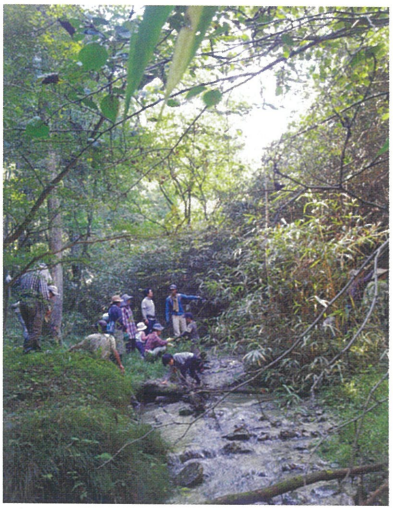
その泉は、時を経て今ではあの時の近寄りがたい感じが薄れてきているように感じます。周辺の環境の変化によって森が渇いてきて鬱蒼とした感じがなくなってきています。この変化にどれだけの人が気づいているでしょうか？ぼくは、単なる景観のことではなく本能的にまずいと感じます。

近年、あちこちで山から流れてくる川の水量が減ったとか、湧水の水量が減ったとか井戸が枯れたなど良く聞くようになりました。そして、大雨が降ると川が増水して下流部で洪水の被害が多発しています。土砂崩れも多発しています。山で何が起きているのでしょうか？

現在、山では雨が大地に浸透する機能がなくなってきているといいます。健全な生きた山では大雨が降っても大地にゆっくり浸透して土の中を永い年月をかけて移動して谷筋や川に湧き出しています。しかし、現在の雨の浸透性を失った山からは大雨が降ると表層を流れる水の勢いがまして泥水となって川に流れ込みます。その様子は、山が血を流しているようにも見えます。



その原因は、効率重視の林業経営のための大規模な森の皆伐、大規模ソーラー発電のための尾根筋の森の皆伐や地形を無視した効率重視の林道のつけ方、工事の現場から運ばれる残土処理のために谷を埋めるように廃棄される盛土、防災のために作られる砂防堰堤やダムも山の呼吸の要になる谷筋をコンクリート重量物で圧迫してつまらせてしまうため二次的に災害を起こしている可能性があるといわれています。生きている山を資源や物質としてしかみない今の人間の視点が自然の災害を誘発しているのかもしれません。



戦後、経済の発達と共に上下水道が整備されました。このことによって私たちは蛇口から出てくる水がどこからやってくる水なのかわからなくなってしまいました。生きてゆくために欠かせない水を確保する苦労がなくなることで周りの環境への関心が薄れてしまったことが山を荒らしてしまっている原因のひとつかもしれません。

あなたの水を産み出す山に関心を寄せましょう。あなたの水を産み出す山は、生きていますか？水源の森を一緒に整えてゆきましょう。